

# 『はじめての100か月』という言葉聞いたときに、何を思い浮かべますか？

妊娠期から小学校1年生までがだいたい100か月です。この時期に、こどもは、様々な人やモノ、環境とのはじめての出会いを繰り返し育っていきます。

『はじめての100か月』は、生涯の幸せを育てます。こども家庭庁では、全てのこどもの『はじめての100か月』を、みんなで大切にしていきたいと考え、『はじめての100か月の育ちビジョン』をまとめました。

『はじめての100か月』は、生涯にわたるウェルビーイングの向上に繋がっていく、大切な時期です。



## 『はじめての100か月』の5つのビジョン -大切にしたい考え方-

01

こどもの権利と尊厳を守る

全てのこどもに権利があります。こども一人ひとりの思いや願いを大切にしていきます。



02

「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める

こどもは、おとなとの「アタッチメント（愛着）」〈安心〉を土台として、「遊びと体験」〈挑戦〉を繰り返しながら成長していきます。



03

「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える

こどもの成長に応じた環境の変化が育ちの「切れ目」を生まないように、全ての関係者で連携して育ちを支えることが重要です。



04

保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする

こどもに最も近い存在の保護者・養育者がこどもとともに育つことができるように、様々な人や機会を支えています。



05

こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

こどもや子育てに直接関わりがある人も、ない人も、全ての人がこどもの育ちにとって大切な役割を担っています。



